



*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。長田中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

1月17日午前5時46分・・・

～28年前の1995年、兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）が発生しました～

1995（平成7）年午前5時46分、兵庫県の淡路島北部沖を震源とするマグニチュード7.3の直下型地震である兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）が発生しました。神戸市などで最大震度7を記録し、同市を中心とする近畿地方の広い範囲に甚大な被害をもたらしました。政府や行政の対応の遅れが批判された一方で、学生を中心としたボランティア活動が活発化し「日本のボランティア元年」と言われ、1996年からはこの日が「防災とボランティアの日」に制定されました。

当時、私は金沢市内の中学校に勤務しており、1年生を担任していました。自宅から比較的近い学校でしたので、地震が発生したときはまだ布団の中にいました。携帯電話やインターネットもそんなには普及しておらず、もちろん「緊急地震速報」もない時代でしたから、情報を得るためにすぐにテレビを付けました。最初は、震源地や震度、マグニチュードなどが速報で流れましたが、現地の様子はほとんど分かりませんでした。早々に出勤し、明るくなって生徒が登校する頃になると、現地からの映像が次々と入ってきました。ヘリコプターからの映像では、神戸の町のあちらこちらから火の手が上がっており、高速道路の高架が折れて横倒しになっている様子や高速道路が寸断されてバスが宙づりになっている映像が飛び込んできました。衝撃的でした。



【写真提供：神戸市】



【写真提供：神戸市】

その日は、1日中、職員室のテレビは付けっぱなしで、授業が終わると急いで職員室に戻りその映像に釘付けになっていました。何か特撮の映画を見ているようで、今本当に起きていることなのかどうか中々現実感がわかなかったことを覚えています。今日である震災から28年を迎えます。

避難訓練のときにもお話ししましたが、大地震や台風など自然災害は人の力ではどうしてもできません。しかし、災害による被害は私たちの日頃の努力によって減らすことができます。行政による「公助」、自分の身は自分で守る「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合う「共助」が、災害による被害を少なくするための大きな力となります。普段、できていないことを災害時に行うことはできません。平時から「自分でできること」「家族でできること」「ご近所と力を合わせてできること」などについて考え、災害に備えておくことが大切です。震災を忘れず、私たちが生きていくための大きな教訓とすることが必要ではないでしょうか。



【写真提供：神戸市】

ご協力をお願いします

昨日16日（月）に、県の「体罰調査」の調査用紙と提出用の封筒を配付しました。ご家庭で記入し、保護者の皆様は内容を確認して署名をお願いします。20日（金）までに配付した封筒に調査用紙を入れて厳封し、担任まで提出願います。ご協力をお願いします。